

第 50 回 安全工学研究発表会プログラム

11 月 29 日(水)

9:00～ 開場, 受付開始

| 11 月 29 日(水) | | |
|---|---|---|
| 9:00～ 開場, 受付開始 | | |
| 第 1 会場(メインホール) | 第 2 会場(21 会議室) | 第 3 会場(22 会議室) |
| 開会の挨拶 9:40-9:50 実行委員長 庄司卓郎(産業医大) | | |
| <p>Session I 9:50-10:50 伊里友一朗(横国大)</p> <p>1 ダクト内の強制対流下を伝ばする粉じん火炎の水噴霧による消炎 ○八島正明(安衛研)</p> <p>2 各種バイオマスの粉じん爆発に対する含有揮発成分の影響 ○秋吉賢, 倉地雄太郎, 坂本真奈, 永島大, 正本博士, コウハクル ワサナ, 重松幹二(福岡大)</p> <p>3 放射線安全の観点からみたプレガバリンの副作用低減を考慮したラドン療法併用による費用対効果に関する検討 ○麗有希, 片岡隆浩, 神崎訓枝, 山岡聖典(岡山大)</p> | <p>Session VI 9:50-10:50 水谷高彰(安衛研)</p> <p>12 化学プラントにおける早期検知を目的としたシステムの構築 ○三戸口彰浩, 麓敦子, 鈴木和彦(岡山大)</p> <p>13 自動運転システムの認知・判断に伴うリスク評価のための人間信頼性の視点の活用 ○青山脩, 澁谷忠弘, マヘシュ・コドート(横国大)</p> <p>14 鉄道運転士の停止操作を対象とした運転情報記録の解析 ○鈴木大輔, 山内香奈, 水上直樹(鉄道総研), 嶋野景子, 坂下修(JR 東海)</p> | <p>Session X 9:50-10:50 吉野悟(日本大)</p> <p>25 硝酸エステル安定度試験に関する検討 ○古井里望, 東英子, 松永浩典(福岡大), 岡田賢, 椎名拓海, 佐分利禎(産総研), 加藤勝美(福岡大)</p> <p>26 小型コンロ内で燃焼している燃料用アルコールが上衣フードにこぼれ、揚げが生じ、一週間後の残渣物からアルコールが検出された事案 ○宮尾賢, 海和晋史, 鳥谷淳(東京消防庁)</p> <p>27 油脂類の酸化劣化度と発火、発熱危険性に関する研究 ○内田剛史, 竹内茉莉子(神奈川産技総研)</p> |
| <p>Session II 11:00-12:00 岩間啓一(石化協)</p> <p>4 化学物質リスクアセスメント義務化への対応状況と課題に関する考察 ○島田行恭(安衛研)</p> <p>5 医療機関における転倒転落の現状 ○新田正佳, 岡田有策(慶応大)</p> <p>6 化学プラントにおける運転支援システムの構築 ○諏訪一, 麓敦子, 鈴木和彦(岡山大)</p> | <p>Session VII 11:00-12:00 西晴樹(消防研究セ)</p> <p>15 事業エリアが広域に渡る鉄道事業者におけるリスク特定手法の開発 ○吉留和宏, 白井郁男, 越川正治(JR 東日本)</p> <p>16 社会インフラ向け事業レベルでのリスク分析手法の提案 ○熊谷洋子, 内山宏樹(日立製作所)</p> <p>17 身近の隠れ危険源を見つけよう (和災論 8) ○坂下勲(坂下安全コンサルタント事務所)</p> | <p>Session XI 11:00-12:00 内田剛史(神奈川産技総研)</p> <p>28 煙火組成物の打撃感度および温度および湿度の影響 ○古荘貴章, 東英子, 松永浩典(福岡大), 出雲充生, 若林邦彦(産総研), 松井郁水, 畑中修二(煙火協会), 加藤勝美(福岡大)</p> <p>29 特異な火災鑑定事例について ○鈴木啓太, 谷悠太, 望月真, 関口恒平, 海和晋史, 鳥谷淳(東京消防庁)</p> <p>30 潤滑油の爆発限界の実験的評価 ○佐藤稔, 川尻和彦, 月居和英, 長房智之(三菱電機)</p> |
| 12:00～13:00 昼食 | | |
| <p>Session III 13:00-14:00 司会 新井充(東京大)</p> <p>特別招待講演</p> <p>7 地震・台風・豪雨などの避けられない自然現象や火災を「災害」としないために! 福岡大学 工学部 建築学科 教授 古賀 一八 氏</p> | <p>北九州国際会議場 〈フロアマップ〉</p> <p>1F: 第 1 会場 企業展示</p> <p>2F: 第 2 会場 第 3 会場</p>  | |
| <p>Session IV 14:10-15:10 司会 新井充(東京大)</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>8 安全工学の今後 10 年のビジョン パネリスト 加藤勝美(福岡大学), 菅野康弘(三井化学), 鈴木佐夜香(消防研究センター), 高原麻実子(三菱ケミカル), 土屋朋也(千代田化工), 東瀬朗(新潟大学兼慶應義塾大学), 牧野良次(産業技術総合研究所), 和田祐典(住友化学)</p> | <p>Session V 15:20-16:20 今村友彦(諏訪理科大)</p> <p>9 セルロースおよびその誘導体における粉じん爆発特性 ○山下博正, 永島大, 正本博士, 重松幹二, コウハクル ワサナ(福岡大)</p> <p>10 アミノ酸系粉体の静電気特性 ○崔光石(安衛研), 加藤智規(味の素), 金佑勤(広島大)</p> <p>11 粉じん爆発リスク低減化検討と適用 ○新田誠, 角野元彦, 国頭庸一(三菱ケミカル)</p> | <p>Session VIII 15:20-16:20 島田行恭(安衛研)</p> <p>18 大地震時における大学構成員の建物外一時避難後の行動: 再入棟条件の探索 ○小柴佑介, 鈴木雄二(横国大)</p> <p>19 チーム作業における フォロー体制強化による ヒューマンエラーリカバリーの効果に関する研究 ○白石理紗子, 若田未奈美, 岡田有策(慶応大)</p> <p>20 「安全」の島から「リスク」の海へ ○西川康二</p> |
| <p>Session V 15:20-16:20 今村友彦(諏訪理科大)</p> <p>9 セルロースおよびその誘導体における粉じん爆発特性 ○山下博正, 永島大, 正本博士, 重松幹二, コウハクル ワサナ(福岡大)</p> <p>10 アミノ酸系粉体の静電気特性 ○崔光石(安衛研), 加藤智規(味の素), 金佑勤(広島大)</p> <p>11 粉じん爆発リスク低減化検討と適用 ○新田誠, 角野元彦, 国頭庸一(三菱ケミカル)</p> | <p>Session VIII 15:20-16:20 島田行恭(安衛研)</p> <p>18 大地震時における大学構成員の建物外一時避難後の行動: 再入棟条件の探索 ○小柴佑介, 鈴木雄二(横国大)</p> <p>19 チーム作業における フォロー体制強化による ヒューマンエラーリカバリーの効果に関する研究 ○白石理紗子, 若田未奈美, 岡田有策(慶応大)</p> <p>20 「安全」の島から「リスク」の海へ ○西川康二</p> | <p>Session XII 15:20-16:20 岡田賢(産総研)</p> <p>31 放射性廃棄物処分における液状水および水蒸気拡散を考慮した Na 型ペントナイト膨潤応力分布の変遷 ○鈴木貫志, 上田涼平(岡山大), 西川大貴(東海交通機械), 佐藤治夫 (岡山大)</p> <p>32 詳細反応モデルおよび熱分析・速度論解析モデルに基づく熟挙動予測の比較 ○伊里友一朗, 三宅淳巳(横国大)</p> <p>33 硝酸グアニジン/塩基性硝酸銅系ガス発生剤の貯蔵安定性 ○板浦巧哉, 加藤勝美, 東英子(福岡大), 高木聡介(日本化薬)</p> |
| <p>16:30-17:50 司会 内田剛史(神奈川産技総研)</p> <p>展示物プレゼンテーション</p> | <p>Session IX 16:30-17:50 茂木俊夫(東京大)</p> <p>21 水面上に流出した高引火点可燃性液体の着火危険性評価手法の検討 ○松原美之, 栗岩宏尚, 八木野航 (東京理科大)</p> <p>22 熱流体解析シミュレーションの活用と可燃性ガスの最小自然発火温度の滞留時間・体積依存性に着目した火災事故の原因究明 ○安藤駿(旭化成)</p> <p>23 水素ステーションにおける高圧水素漏えい事故の影響度に関する実験的評価 ○小森雅浩, 権田真徳(JPEC), 朝原誠(岐阜大), 富樫憲一(道総研), 岡林一木(三菱重工)</p> <p>24 ビンホールから噴出したプロパン噴流の着火判定手法 ○今村友彦, 高橋洸介, 前島周平, 須川修身(諏訪理科大)</p> | <p>Session XIII 16:30-17:30 嶋村幸仁(筑波技大)</p> <p>34 ヒヤリハット情報の内容充実度向上に関する検討 ○島田竜八, 岡田有策(慶応大)</p> <p>35 工学学部学生への「ものづくり安全工学」教育の現状・課題と今後の在り方の一考察 ○小島義博(熊本大)</p> <p>36 労働安全活動におけるヒヤリハットデータの活用範囲拡大に関する研究 ○高橋広太, 岡田有策(慶応大)</p> |
| 閉会の挨拶 17:50-18:00 学術委員長 平尾雅彦(東京大) | | |
| 懇親会 (APSS2017 Welcome Reception) 18:30 ~ (1F イベントホール) | | |